



東山道・美濃国分寺

国指定史跡 美濃国分寺跡附瓦窯跡(美濃国分寺跡歴史公園)

美濃国分寺

美濃国分寺は、美濃国(こく)府(ふ)(不破(ふわ)郡垂(たる)井(い)町府(ふ)中(ちゅう))や不破(ふわ)の関(せき)(同郡関(せき)ヶ(が)原(はら)町松(まつ)尾(お))に近い、ここ青野原(あおのがはら)の景勝地に建立された。背後に青野山がひかえ、南は東山道(とうさんどう)に面して建てられた国分寺は、わずかに塔(とう)跡を残すのみで地中に埋もれていたが、昭和43年度(1968)から始まった発掘調査によって、伽藍(がらん)の大部分が明らかとなった。伽藍の範囲は東西230m、南北250m以上で、周囲には築(つい)地(じ)大垣(おおがき)をめぐらせていた。

発掘調査では、金堂(こんどう)、塔(とう)、講堂(こうどう)、鐘(しょう)楼(ろう)、西面僧房(そうぼう)などの遺(い)構(こう)を確認している。伽藍配置は大官大(だいかんたい)寺(じ)(奈良(なら)県高市(たかいち)郡明日香(あすか)村)のものと同様である。上(かず)総(さ)・甲斐(かい)・讚(さぬ)岐(き)国分寺などにも同様の伽藍配置が採用されている。美濃国分寺の主要な堂塔はおそらく8世紀中頃までには整備されていたと考えられる。なお、伽藍北東方の丘陵斜面には瓦を焼いた窯(かま)跡(未調査)が確認されている。

壮麗(そうれい)な伽藍も、仁(に)和(な)3年(877)の火災によってすべてが焼失し、一時席(むしろ)田(だ)郡(現本(もと)巢(す)市の一部)の定(じょう)額(がく)尼寺(にじ)に、その機能が移される。再びこの地に戻ったという歴史的な記録は認められないが、発掘調査の成果から10世紀前半～中頃にはこの地に再建されたものと考えられる。南門の正面付近には10世紀中頃のものと思われる参道(さんどう)と、儀(ぎ)式(しき)の際に幢幡(どうばん)(旗)を立てるための幢竿(どうかん)支(し)柱(ちゅう)遺構、庇(ひさし)付掘立(つきほったて)柱(ばしら)建物(たてもの)跡、井戸跡が確認されている。しかし、12世紀末頃までには国分寺としての機能は失い、青野山山麓に所在する現美濃国分寺は元(げん)和(な)元年(1615)に再興(さいこう)されたものである。美濃国分寺跡は西南西約1kmの不破郡垂井町平(ひら)尾(お)に所在する。



0001_中門



0002_中門



0003_中門



0004_中門



0005_中門



0006_中門



0007_中門



0008_中門



0009_中門



0010_中門



0011_中門



0012_中門



0013_中門



0014_南門



0015_南門



0016_南門



0017_南門



0018_南門



0019_南門



0020_南門



0021_南門



0022_南門



0023_南門



0024_南門



0025_南門



0026_南門と中門の中間地点



0027_南門と中門の中間地点



0028_南門と中門の中間地点



0029_南門と中門の中間地点



0030_南門と中門の中間地点



0031_南門と中門の中間地点



0032_南門と中門の中間地点



0033_南門と中門の中間地点



0034_南門と中門の中間地点



0035_南門と中門の中間地点



0036_南門と中門の中間地点



0037_南門と中門の中間地点



0038_南門・北から



0039_南門・北から



0040_南門・北から



0041_周辺案内図



0042_周辺案内図



0043_周辺案内図



0044_周辺案内図



0045_周辺案内図



0046_周辺案内図



0047_周辺案内図



0048_回廊内建物



0049_回廊内建物



0050_回廊内建物



0051_回廊内建物



0052_回廊内建物



0053_垂井宿 (美濃国分寺の西側)



0054_垂井宿 (美濃国分寺の西側)



0055_垂井宿 (美濃国分寺の西側)



0056_垂井宿 (美濃国分寺の西側)



0057_垂井宿 (美濃国分寺の西側)



0058_垂井宿 (美濃国分寺の西側)



0059_垂井宿 (美濃国分寺の西側)



0060_垂井宿 (美濃国分寺の西側)



0061_垂井宿 (美濃国分寺の西側)



0062_垂井宿 (美濃国分寺の西側)



0063_垂井宿 (美濃国分寺の西側)



0064_塔跡



0065_塔跡



0066_塔跡



0067_塔跡



0068_塔跡



0069_塔跡



0070_塔跡



0071_塔跡



0072_塔跡



0073_歴史資料館展示物、境内模型



0074_歴史資料館展示物、境内模型



0075_歴史資料館展示物、境内模型



0076_歴史資料館展示物、境内模型



0077_歴史資料館展示物、境内模型



0078_歴史資料館展示物、境内模型



0079_歴史資料館展示物、境内模型



0080_歴史資料館展示物、境内模型



0081_歴史資料館展示物、境内模型



0082_歴史資料館展示物、境内模型



0083_歴史資料館展示物、境内模型



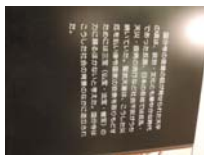
0084_歴史資料館展示物、境内模型



0085_歴史資料館展示物、境内模型



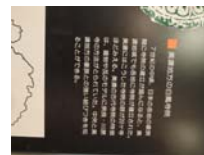
0086_歴史資料館展示物、境内模型



0087_歴史資料館展示物、境内模型



0088_歴史資料館展示物、境内模型



0089_歴史資料館展示物、境内模型



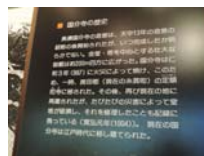
0090_歴史資料館展示物、境内模型



0091_歴史資料館展示物、境内模型



0092_歴史資料館展示物、境内模型



0093_歴史資料館展示物、境内模型



0094_歴史資料館展示物、境内模型



0095_歴史資料館展示物、境内模型



0096_歴史資料館展示物、境内模型



0097_歴史資料館展示物、境内模型



0098_歴史資料館展示物、境内模型



0099_歴史資料館展示物、境内模型



0100_発掘時の写真展、八賀晋先生



0101_発掘時の写真展、八賀晋先生



0102_発掘時の写真展、八賀晋先生



0103_発掘時の写真展、八賀晋先生



0104_発掘時の写真展、八賀晋先生



0105_発掘時の写真展、八賀晋先生



0106_発掘時の写真展、八賀晋先生



0107_発掘時の写真展、八賀晋先生



0108_発掘時の写真展、八賀晋先生



0109_発掘時の写真展、八賀晋先生



0110_発掘時の写真展、八賀晋先生



0111_発掘時の写真展、八賀晋先生



0112_発掘時の写真展、八賀晋先生



0113_説明版



0114_説明版



0115_説明版



0116_説明版



0117_説明版



0118_説明版



0119_説明版



0120_説明版



0121_講堂



0122_講堂



0123_講堂



0124_講堂



0125_講堂



0126_金堂



0127_金堂



0128_金堂



0129_金堂



0130_金堂



0131_金堂



0132_金堂



0133_金堂



0134_金堂



0135_金堂



0136_金堂



0137_金堂



0138_金堂



0139_金堂



0140_金堂



0141_金堂



0142_金堂



0143_金堂



0144_金堂



0145_金堂



0146_金堂



0147_金堂



0148_金堂



0149_金堂



0150_金堂



0151_金堂



0152_金堂



0153_金堂



0154_金堂



0155_金堂



0156_金堂



0157_金堂



0158_金堂



0159_金堂



0160_金堂



0161_金堂